

- ・教室をめぐる動き (1)
- ・教員の研究活動 (1)
- ・製本保存ぶん卒業論文主題(1995年度)一覧 (3)
- ・1996年度教員在室時間割 (4)
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について (5)

教室をめぐる動き

この4月に次の人事発令がありました。

<非常勤講師の退任>

- 田中恭子先生 外国地誌 (環太平洋地域)
- 澤口晋一先生 自然地理概説 (教倫史東・教職)

<非常勤講師の新任>

- 長谷川裕彦先生 自然地理概説 (教倫・教職)
- 橋爪若子先生 地誌学 (教倫・教職)
- 川合元彦先生 人文地理概説 (史東・教職)
- 卜部勝彦先生 人文地理学 (政Ⅱ・教職)

<昇格>

- 内田順文講師 助教授へ

また、長島弘道教授が文学部長に、野口泰生教授が教室主任になりました。
今年度の学年担任は以下の通りです。

- 1年 瀬戸玲子教授
- 2年 野口泰生教授
- 3年 内田順文助教授
- 4年 長谷川均助教授

教員の研究活動

長島 弘道 教授

<研究活動>

論文:

The Organization of Farmland Management Systems in Mountainous Areas in Japan.
C. Bryant & C. Marois eds. The Sustainability of Rural Systems, pp.278-289,
Université de Montreal Department de Géographie, 1995.

□頭発表:

Conservation of Soil Fertility in Japan.

国際地理学連合 (IGU) 筑波国際会議 1995年8月19-26日 (筑波大学)

その他:

1989年改革後のハンガリーの農業の変容. 正史と地理, 485, 1-10, 1996

瀬戸 玲子 教授

＜研究活動＞

論文:

関東地方における集団住宅建設の立地条件と経年変化 [二見昭宏と共著]. 国土館大学地理学報告No. 4 (1995)

□頭発表:

関東地方における昭和31年(1956)～平成6年(1994)の公団による住宅開発と立地条件.

日本国際地理学会平成7年度定期大会 (明治大学, 1995年7月25日)

書評:

内田和子著「近代日本の水害地域社会史」(古今書院)、お茶の水地理36号, 87-88 (1995)

委員会活動:

1992年4月～ 日本地理学会、国立地理学博物館設立推進委員会委員

1994年9月～ 日本学術会議、地理学研究連絡委員会委員

野口 泰生 教授

＜研究活動＞

書評:

日本農業気象学会編「平成の大凶作」(農林統計協会)、地理40-5, 122-123 (1995)

地学団体研究会編「新版地学教育講座16:自然と人間」(東海大学出版会)、地理40-09, 121-123 (1996)

福岡義隆著「都市の風水土:都市環境学入門」(朝倉書店)、地理40-10, 124-125 (1995)

□頭発表:

気温累年値に含まれる都市化成分の抽出法について、日本地理学会春季大会、慶応大学藤沢 (1996年3月28日)

講演:

気温の永年変化に含まれる都市化成分とその抽出、日本大学文理学部地理学教室 (1995年6月3日)

長谷川 均 助教授

＜研究活動＞

著書:

『サンゴ礁干潟の環境変化と保全(Ⅱ)』[山内秀夫ほかによる共著]

プロ・ナトゥーラ・ファンド第4期助成研究成果報告書、(財)日本自然保護協会、1995

サンゴ図解、(『なぎ物語 焼内湾・奄美大島』分担執筆108-115) (財)宇検村振興育英財団、1995

論文・その他:

八重山の海は今 新しいくらしと環境保全、地理40-9, 40-46, 1995

分光反射測定によるサンゴ礁環境調査への応用、国土館大学人文学会紀要28号, 79-93, 1995

□頭発表:

地理学科におけるリモートセンシング教育、日本地理学会春季学術大会、慶応大学藤沢 (1996年3月28日)

内田 順文 助教授

＜研究活動＞

□頭発表:

宮崎駿作品の「自然-人間」観と現代人の地球環境観について.

人文地理学会1995年度大会 (大阪教育大学, 11月12日) で発表.

製本保存ぶん卒業論文主題(1995年度)一覧

3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、茂木真佐美さんと長島功男さんが発表しました。1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。年度別、分野別に製本された卒論は第2研究室で閲覧できます。95年度は、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表題
3	関川 幸浩	福島県から茨城県の太平洋沿岸における気温と海面水温との相互作用について ＝特に夏の異常気象年について＝
4	齋藤 康広	人口増加に伴う市街地周辺の土地利用変化について ＝千葉県八街市＝
5	太田 昇	植生区分の異なる地点における湿原の花粉分析からみた植生変遷の違い ＝上信越国立公園西側を例に＝
8	生出 大輔	文学作品にみる『人間』と『場所』の関係 ＝夏目漱石と鎌倉を例として＝
11	藤崎 俊明	大学生の日常生活における余暇活動について ＝競馬に関する余暇活動を中心として＝
12	中村 隆司	土地利用の違いが河川の降雨流出に与える影響 ＝神奈川県城山町の境川水系を例に＝
17	飯泉 齋志	東京近郊都市における駐車場立地と駐車空間の変容 ＝八王子・町田を例として＝
19	祖父江亜紀	千葉県富津岬における人工構造物の影響による海浜変形
21	白男川里子	衛星リモートセンシングに基づく斜面崩壊地の検出 -1993年8月鹿児島豪雨災害を例に＝
23	青木 美和	長野県犀川流域の地すべり地形の特徴と地質との関係
28	伊佐 孝史	石垣島轟川流域における農業整備産業と振興開発について
32	吉野 幸広	都市河川における多目的遊水池の役割 ＝埼玉県大宮市深作川の事例＝
36	村上 誠	神奈川県藤沢市におけるコンビニエンス・ストアの立地展開
41	田上修太郎	栃木県におけるイチゴ産地の販売組織と市場対応 ＝二宮町を中心として＝
44	杉下 創史	市街地に隣接する小起伏地における夜間の気温特性 ＝埼玉県所沢市西武鉄道狭山線沿線を例に＝
48	仲井 正和	都市におけるセメント産業の役割 ＝神奈川県と神奈川県相模原市を例に＝
58	浦野 雅宏	大宮市中心部における中高層建築物の立地過程とその機能
61	西村 圭介	房総半島南部における照葉樹林構成種の分布と潮風環境
62	鈴木 一史	近世の渡船について ＝下総国取手の渡しを事例に＝
65	後藤 智哉	木曾山脈南部におけるササ草原
67	小森谷聖高	新たな高速交通発達の中での地方空港のあり方 ＝山形空港を例として＝
69	村松 良幸	水害対策と破堤防災図の作成 ＝茨城県小貝川を事例に＝
70	長島 功男	南岸低気圧がもたらす積雪の地域特性 ＝関東地方(東京と周辺地域)を例に＝
73	窪木 俊夫	地形改変を伴う丘陵地の住宅地化 ＝横浜市北部を例として＝
74	茂木真佐美	麦作儀礼と麦製品儀礼食 ＝東京都武蔵村山市岸＝
76	柳澤 一平	新潟県中頸城郡大瀧町におけるニセアカシアの分布と植生景観の変遷について
78	小熊 将之	千葉県における霜に関する研究
79	榎原 清史	都市化地域における農業の組織化と農家経営 ＝神奈川県川崎市麻生区岡上菅農団地を事例として＝
80	寺嶋 哲也	群馬県川場村における観光開発
83	長尾竜太郎	焼岳足洗谷における堆積土石の分布とその移動過程
84	村上 淳	販売にみられる新聞産業の実態 ＝東京都区部の場合＝
86	紺野 薫	青森県十和田市における野菜生産の成立と生産構造＝ながいも・にんにくを事例として＝
701	白井 英明	親潮の異常南下が関東地方沿岸の気温に与える影響について

1996年度 教員在室時間割

【凡例】

Na: 長島 Se: 瀬戸 No: 野口 Ha: 長谷川 Uc: 内田

————— : 講義中、 ————— : 在室、 : 在室していることが多い、 後 : 後期開講

	校舎	9:00-10:30	10:40-12:10		12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月	世谷		No				
	鶴川	Se —————			Ha —————		後 —————
火	世谷	Na —————	No				後 —————
	鶴川	Uc —————					
水	世谷	Se —————	※Na —————				
		Ha —————					
木	世谷				Se —————		後 —————
	鶴川	Na —————	No —————		Uc —————		後 —————
金	世谷 ※				No		
土	世谷	Uc —————					

※第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

※上記時間以外の面会、相談などはAppointmentによります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。

教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

研究室の電話 長島 : 03 (5481) 3230 (学部長室)・5278 (研究室4F)

瀬戸 : 03 (5481) 3245 (研究室2F)

野口 : 03 (5481) 3246 (研究室2F)

長谷川 : 03 (5481) 5247 (研究室2F)

内田 : 03 (5481) 5291 (研究室4F)

※長島より：表中の「在室」とは、原則として「学部長室在室」を指します。水曜日をオフィスアワーとしますので、用事のある人は、この時間に学部長室を訪ねて下さい。

※長谷川より：原則として、月・土以外は世田谷研究室にありますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにして下さい。

文献・機材の借出・返却は、貸出簿に記入したのち、在室教員のチェックを受け、サインをもらってください。

地理情報処理室および図書資料室の利用について (重要:必ず読むこと)

10号館がリニューアルされたことにより、これまでと部屋の配置が変わりました。10号館2F入口正面にある部(従来は実習室などと呼ばれて、学生の憩いの場ともなっていた)は、「地理情報処理室」という名称になり、の中に、野口・長谷川・瀬戸の各個人研究室、および地理学図書資料室の各部屋があります。これにもなつ、今年度から研究室の諸施設の利用方法が、下記の通り変更になりましたので、よく読んで、これに従うようして下さい。

・地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、前ページの在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることになります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。

・従来は、教員が帰宅した後も学生が鍵を持って居残る場合がありますが、今後は教員が帰宅すると同時に情報処理室を閉めます。教員に促されたら、学生は荷物を持って外へ出て下さい。学生が事務室から鍵を借り出すことは、原則として禁止します。

・教員が講義等で一時的に研究室を留守にする場合は、原則として情報処理室を閉めます。この時間帯に情報処理室及び図書資料室を利用したい学生は、その旨を教員に伝えて下さい。

・情報処理室および図書室が個室になることによって、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすくなります。盗難のおそれがあるので、図書室内または情報処理室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。また、室内外で不審な行動をする人物を見かけたときは、すぐに直接注意するか、在室教員に知らせるようにして下さい。

・地理学図書資料室の新設により、これまで教員の研究室にあった研究室管理の図書は、図書資料室に移されました。これにより、研究室図書の閲覧および貸出方法が下記の通り変更になりましたので、よく読んで、これに従って本を借りるようにして下さい。

▼貸出は、従来どおり「図書貸出簿」に書名・住所・氏名・学年など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受けて下さい。

▼返却も、従来どおり「図書貸出簿」に返却日を記入し、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。

▼貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。

▼以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課しますので、くれぐれも違反のないようにして下さい。

・研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。

・図書資料室を利用しやすくするために、司書資格を半分持っている教員が、近日中に分類別に置架しなおります。利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、今後も利用しやすい図書室であるために、絶対に守らなくてはならないマナーです。